



57 浜名湖の湖岸から望む夕日

(村櫛・館山寺、
細江「みをつくし」、
三ヶ日「瀬戸のつり橋」)

地域：西区
北区



村櫛半島西岸や館山寺周辺からは、浜名湖や湖西連峰の向こうへ沈む夕日を望むことができます。湖面のさざなみが夕日にきらめき、夕焼けが湖面を照らして一番星が輝き始めるまでの時間は、浜名湖が一日で最も美しい色に染まる贅沢な時間です。

万葉集にも詠まれている細江の「みをつくし」は、浜名湖に陽が沈むそのひと時、夕日に映えた姿が、万葉の昔を偲ばせます。

また、夕日に映し出される浜名湖瀬戸のつり橋は、周辺の自然と調和し、絶妙な景観を醸し出します。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

58 夜空に浮かぶアクトシティ

地域：中区



浜松駅に隣接するアクトタワーは、地上45階、212.8mと東海地方屈指の高さを誇り、ホテル、レストラン、ショッピングモールなどで構成され、浜松のシンボルとして、また、ランドマークとしてそびえ立っています。夜空に浮かぶアクトシティの美しさは格別で、市街地からはもちろん、遠く離れた滝沢展望台などから望むその姿も大変印象的です。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：アクトシティ浜松 ☎053-451-1111

59 街角を照らす冬の蛍

地域：中区



冬季には、中心市街地の活性化を目的とした市民・企業・行政の協働による市民参加型の大規模集客イベント「はままつ冬の蛍フェスタ」が開催されます。会場の中心市街地は、JR浜松駅北口前のギャラリーモールに設置されるシンボルツリーをはじめとした様々なイルミネーション等の「光」で幻想的に彩られます。

時期：11月～1月

問い合わせ先：浜松市都心政策課 ☎053-457-2095

60 天文台から見る星

地域：南区



浜松市天文台は、市民が宇宙の神秘を身近に体験できる施設として、五島公民館に併設された公開天文台です。月や惑星、星雲星団など、大型屈折望遠鏡による迫力ある天体の姿は必見です。



【休台日】月曜・祝日・年末年始

問い合わせ先：浜松市天文台 ☎053-425-9158

61 光産業の礎「イ」の石碑

地域：中区



浜松高等工業学校の助教授だった高柳健次郎氏が、1926年、世界で初めて電子式テレビジョンの開発に成功しました。歴史が動いたその一瞬を記念するため、最初にブラウン管に映し出した文字「イ」の記念碑がNHK浜松支局と西部公民館に建立されています。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：NHK浜松支局 ☎053-472-1171
浜松市立西部公民館 ☎053-452-0734

62 篠原町の火渡り

地域：西区



篠原町の保泉寺（ほうせんじ）において、毎年1月18日、遠州・三河・信州の各地から修行者が集まって火伏せの行が行なわれます。ほら貝が鳴り響き、立ち上る炎の中、白装束の修験者を筆頭に、参加者が次々と護摩壇（ごまだん）を渡って一年の願をかけます。厳かな中にも勇壮なその光景は、正月を飾る行事として近隣の人々に親しまれています。

時期：1月18日

問い合わせ先：保泉寺（ほうせんじ） ☎053-448-3733

63 秋葉灯籠（あきはどうろう）

地域：中区・北区
浜北区・天竜区



市内各地に残っている秋葉山信仰の灯籠で二俣街道沿いに多く見ることができます。多い地区では辻ごと、社ごとに設置され、工夫を凝らしたデザインは風情にあふれるのみならず、貴重な歴史文化遺産です。近年では、火を灯されることはまれになりましたが、防火への願いが込められた秋葉灯籠は、今日も地域を見守っています。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

64 浜名湖 湖面の輝き

(館山寺大草山、 地域：西区
姫街道いなさ峠) 北区



館山寺温泉街からロープウェイで登る大草山からは、浜名湖が一望できます。風になびくさざ波、マリンスポーツ、漁船が描く航跡が、降り注ぐ光を浴びて美しく輝きます。

また、姫街道いなさ峠付近からの浜名湖（引佐細江湖）の眺望は、大変素晴らしく箱庭のようです。朝日、夕日に輝く湖面に心を洗われる思いがします。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：
大草山（かんざんじロープウェイ） ☎053-487-2121

65 水辺に映る蛍の光

(天竜「蛍の里」、細江「天池(あまいけ)自然公園」、地域：北区
春野「藤ノ瀬ホタル公園」、龍山「ふるさと村」、
引佐町田沢) 天竜区



西阿多古川沿いの「蛍の里」や細江の「天池(あまいけ)自然公園」、春野の「藤ノ瀬ホタル公園」、龍山の森林レクリエーション施設「ふるさと村」周辺の川岸などでは、初夏には多くの蛍が飛び交い、夜のひとときを幻想的な世界へと導いてくれます。

また、引佐町田沢は、蛍の町として知られ、学校をはじめ、地域住民が協力し合って蛍を育てています。

時期：5月～6月

問い合わせ先：天竜区・産業振興課 ☎053-922-0033
北区・産業振興課 ☎053-523-1113
春野地域自治センター地域振興課 ☎053-983-0001
龍山ふるさと村 ☎053-969-0133

66 鳥羽山公園の桜

地域：天竜区



天竜奥三河国定公園にあり、桜の名所として知られる市民の憩いの場「鳥羽山公園」では、開花した桜の輝きが山一面をピンク色に染め、訪れる人々の目を楽しませてくれます。ここ天竜に春の訪れを知らせる風物詩になっています。また、公園は、戦国時代に徳川家康が本陣を構えて武田方と戦った城跡で、山全体に人の手が加えられた跡が残っています。

時期：4月

問い合わせ先：天竜区・産業振興課 ☎053-922-0033

67 大栗安(おおぐりやす)の棚田

地域：天竜区



中山間の傾斜地を利用して段々に作られた水田の景色は、数少なくなった田園風景です。ここ大栗安の棚田は、平成11年度に「日本の棚田百選」にも選ばれています。水田にさんさんと降り注ぐ太陽の光はまぶしく、初夏には蛍が飛び交い、秋には黄金色に染まった稲穂が一面に広がる絶景に巡り会えます。

時期：春～秋

問い合わせ先：天竜区・産業振興課 ☎053-922-0030

68 弁天島浮見堂(うきみどう)

地域：西区



乙女園の西側に作られた棧橋とあずまやが浮見堂と名付けられ、市民の休息の場として親しまれています。特に、茜色に染まる夕景はとてもロマンチックです。



時期：一年をとおして

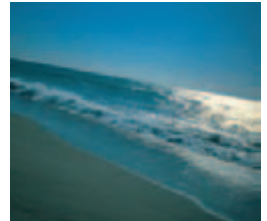
問い合わせ先：
舞阪地域自治センター地域振興課 ☎053-592-2111

69 舞阪灯台のあかり

地域：西区



遠州灘を航行する船舶の安全を守る灯台の光。松林の中にある白い舞阪灯台は、1964年に竣工されました。光達距離は約30kmあり、沿岸灯台として、重要な役割を果たしています。また、展望台からは、太平洋を一望することができます。



時期：一年をとおして

問い合わせ先：
舞阪地域自治センター地域振興課 ☎053-592-2111

70 たきや船の松明(たいまつ)のあかり

地域：西区



たきや漁は、浜名湖の向こうに夕日が沈み、夜が訪れるころ、小舟の舳先に松明のあかり（現在は水中灯）をともし、その光の中に浮かんでくるエビ、カニ、タイなどの魚を網やモリで突いて捕らえる伝統的な漁です。素朴な、そしてスリルに富んだ漁は、観る者を幻想的な世界へ誘います。

時期：4月～10月

問い合わせ先：浜名漁業協同組合
たきや組合遊船部 ☎053-592-2260

71 姫様道中

地域：北区



毎年、4月第1週の土曜日と日曜日に開催される姫様道中は、桜が舞い散るなか、江戸時代の姫街道の往時を絢爛豪華(けんらんごうか)に再現しています。春の木漏れ日の中をお姫様を中心に百数十人が繰り広げる歴史絵巻は、奥浜名湖に春を告げる代表的な行事となっています。

時期：4月

問い合わせ先：浜松市姫様道中実行委員会 ☎053-523-0713

72 方広寺(ほうこうじ)参道の木漏れ日 地域：北区



方広寺奥山半僧坊は、建徳2年(1371年)に後醍醐天皇の皇子によって開創された名刹です。

方広寺の境内は静寂に包まれ、杉の大木から洩れる光は幻想的で、本堂や三重の塔は、光のみが織り成すことができる絶妙な味わいを見せます。

また、石橋の五百羅漢(ごひゃくらかん)は表情が豊かで、見る人の心を和ませてくれます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：方広寺(ほうこうじ) ☎053-543-0003

73 奥山公園の夜桜 地域：北区



春には奥山公園とその周辺の桜が咲き乱れ、艶やかな景観を誇ります。最盛期には公園内がライトアップされ夜桜も楽しめます。特に、公園内の池に架けられた浮き栈橋から見るライトアップされた桜は、池の反射光とあいまって大変美しく見事で一見の価値があります。

時期：4月

問い合わせ先：
引佐地域自治センター地域振興課 ☎053-542-1111

74 三ヶ日町内のイルミネーション 地域：北区



毎年年末に、三ヶ日地域の一般家庭、商店等でイルミネーションフェスタが行なわれ、町中がいろいろな色の光に飾られます。心温まる明るい光に包まれるとクリスマス気分が高まります。



時期：12月

問い合わせ先：三ヶ日町商工会 ☎053-524-1121

75 秋葉の火祭り 地域：天竜区



昔から火防信仰を集めた霊山秋葉山。太古より秋葉神社(あきはじんじゃ)と秋葉寺(しゅうようじ)が存在し、秋葉神社では、毎年12月16日の夜、弓の舞、剣の舞、火の舞などが行なわれ、秋葉寺では、同月15日と16日の両夜、火渡りの儀式が催されます。ともに、秋葉の火祭りとして賑わい、今も県内外から多くの参拝者が集まります。

時期：12月15日～16日

問い合わせ先：春野町観光協会 ☎053-983-0066

76 春埜 (はるの) 杉

地域：天竜区



行基(ぎょうき)が開山したと伝えられる春埜山(はるのやま)山頂の大光寺(だいこうじ)境内には、樹齢1,300年と伝えられる高さ44mの大杉があります。県の指定天然記念物で、杉の大木から洩れる光は幻想的です。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：
春野地域自治センター地域振興課 ☎053-983-0001

77 浦川歌舞伎

地域：天竜区



江戸時代の音羽屋一座の歌舞伎役者尾上栄三郎が地方巡業に出て倒れ、診療に訪れた浦川地区で最期の舞台を演じたというのが発端となり、村人による歌舞伎が演じられるようになったといわれています。それが定着して受け継がれているのが浦川歌舞伎です。地元役者の演技が光ります。

時期：9月下旬

問い合わせ先：
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001

78 満天の星空

(天竜の森公園、水窪カモシカと森の体験館)

地域：天竜区



近年、都市化に伴って、主に街の明かりにより星が見えにくくなっています。しかし、標高1,352mの龍頭山(りゅうとうざん)にある「天竜の森公園」や標高約1,100mの家老平(かろうだいら)にある「水窪カモシカと森の体験館」などでは、今もなお美しい星空を見ることができます。満天の星空を仰ぎ見る贅沢を味わってみてはいかがでしょうか。

時期：一年をとおして(「水窪カモシカと森の体験館」は月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日及び冬季休館)

問い合わせ先：
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001
水窪カモシカと森の体験館 ☎053-987-1200

79 西浦(にしうれ)田楽 御船渡しの火

地域：天竜区



旧暦の1月18日に、月の出から翌日の日の出まで、夜を徹して幻想的な仮面の舞が繰り広げられる西浦田楽は、国の指定重要無形民俗文化財に指定されています。御船渡しが行なわれ、観音堂の燈明(とうみょう)から御船に火を移し、御船が引かれて「タイ」に登り火が点じられます。この火はまさに神秘的で、見る者の心をいにしえへといざないます。

時期：旧暦1月18日

問い合わせ先：
水窪地域自治センター地域振興課 ☎053-982-0001

80 光に映える燃え立つ紅葉(山住(やますみ)神社~水窪ダム)

地域：天竜区



岩と粘土を積み上げた日本で数少ないロックフィル式の水窪ダム。このダム湖は、ワカサギ、コイ、ヘラブナ釣りの名所として大人気のスポットで、湖面を差す太陽によるきらめきは幻想的です。また、秋には、真っ赤に燃え立つ山が迫り、都会にはない勇壮な景観を身近に体験できます。

時期：10月～11月

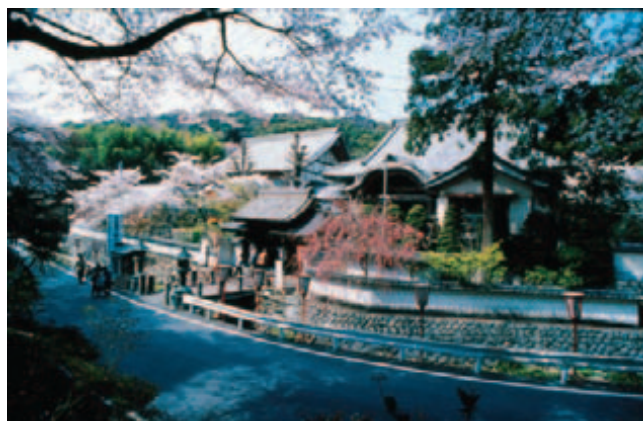
問い合わせ先：

水窪地域自治センター地域振興課 ☎053-982-0001



81 岩水寺(がんすいじ)の鐘の音、桜の香り

地域：浜北区



長い歴史のある真言宗の古刹(こさつ)であり、桜の名所として親しまれている岩水寺の境内に咲く100本を超えるソメイヨシノは、夜にライトアップされます。また、岩水寺は、安産子育ての寺として広く親しまれ、鐘楼でつく鐘の音は、心にしみる風情を感じます。

時期：4月(桜)・一年をとおして(鐘の音)

問い合わせ先：岩水寺(がんすいじ) ☎053-583-2741

